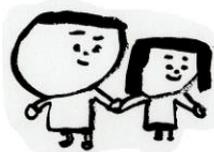


「福島～山口 いのちの会」 便り No.2

子どもたちが健やかに生きていける世界をめざして活動しています。

事務局 〒753-0047 山口市道場門前1-2-19 山口市市民活動センター さぼらんで気付
(団体への連絡を取り次ぐもので、「さぼらんで」に本団体が常駐しているものではありません。)
電話 080-6331-0960(安藤) 090-2290-8919 (三輪)



2015年7月1日発行

福島県では震災当時18歳以下の子ども約38万人の甲状腺検査をしています。
これまでに延べ37万人の子どもが検査を受けました。
今年4月に県が発表した結果では、「がんと確定」の子どもが126人でした。
この結果に対し、国も県も「放射線の影響ではない」という見解を出しています。
この見解が正しいという根拠は何なのでしょう？
「放射線の影響ではない」と言い切るなら、明確な根拠を示してほしいと思います。
日本の未来を考えるなら、この子たちの命と真剣に向き合ってもらいたいと思います。

『おいでませ山口♪定住支援ネットワーク』

6/13に結成総会が行われました。

人口減少や高齢化に悩む里山 / 里地 / 里海を活性化したい人たちと、福島第一原発事故による避難・移住・保養を支援するグループが立ち上がり、この会が結成されました。

総会では、山口県が取り組んでいる「移住・定着日本一」を目指し活動していくことを宣言されました。

現在、全国の避難者数は登録されているだけでも22万人に上ります。

岡山県への避難者数はとび抜けて多いですが、その理由として、支援体制の充実、支援団体のネットワーク「ほっと岡山」で相談窓口を常設していることが大きいと思われます。

個人の支援では限界があり、また信頼性に不安が残りますが、団体レベルのネットワークになれば情報量も増え、サポート体制は安定します。

呼びかけ人の中には、医師や弁護士、大学教授、県議や市議もおられますので、あらゆる面で力強くサポートしてください。

中国5県の避難者数(4月16日現在)

岡山県	1,136人
広島県	436人
鳥取県	173人
山口県	122人
島根県	90人

この日「福島～山口 いのちの会」も賛同団体として登録しました。

山口県に一人でも多くの方が避難され、新しい生活への第一歩を安心して踏み出せるよう、お手伝いできればと思います。

3月～6月 活動報告

福島原発告訴団



3月20日：武藤類子さんを囲む夕べ

森の中で自然に寄り添い、すべての命を大切にしようとして生きて来られた心やさしい福島原発告訴団団長の武藤類子さんが、福島
島の悲惨な現状を訴えられました。



3月21日：上関原発を建てさせない山口県民大集会

山口県内外から約4,000人が集いました。

4月24日：市民学習会「原発事故と障がい者の避難」

映画「逃げ遅れる人々～東日本大震災と障がい者」を見て、避難時に障がい者は後回しにされたり、避難所から追い出されたりしてしまうという現状を知り、私たちはどう取り組んでいけばいいのか考えさせられました。

学習会は第4金曜日
山口市男女共同参画センター
19時～20時30分

4月26日：アースデイ

山口市亀山公園に地球環境を大切に守っていこうと行動する人々が集いました。
「上関原発を建てさせない山口県民大集会」と「アースデイ」で皆さまからいただいた『原発事故被害者の救済を求める全国運動 第二期署名』は131,005筆集まり、5月27日国会へ届けられました。

5月22日：市民学習会「きちんと知ろう！火山と噴火」

元山口大学理学部教授 永尾隆志さんのお話を聞きました。
火山の巨大噴火（破局噴火）が起これば地球規模で気候変動をもたらし、噴火時に生き延びても飢饉で生存が危ぶまれるという恐ろしい内容でしたが、永尾先生のお話は漫談のようで尽きることがなく、まだまだパート2、3と続きそうです。
先生お薦めの本、石黒耀著「死都日本」を読むと、より実感が得られるそうです。

6月26日：市民学習会「シーカヤッカー 原康司さんのお話」

アラスカやアマゾン川をシーカヤックで冒険してきた原さんは、故郷に戻ってきて改めて瀬戸内海の美しさ、残された自然の貴重さを感じ、「海を守りたい」という思いから、祝島の島民と共に上関原発予定地の埋め立てに反対してこられました。
そんな原さんたちに、中国電力は2009年から次々にスラップ訴訟を起こしました。
スラップ訴訟とは、市民の声を権力やお金、脅し、時間的な拘束、疲労などで潰すことを目的とした、とても卑怯な訴訟です。



「さぼらんて」より
支援金11,000円を
いただきました。

第3回 夏の保養 ご協力をお願い

今年も、福島の子どもたちを8月7日～12日まで山口市で受け入れます。
場所は昨年と同じ、山口市宮野『紅花舎』（元、山口ユースホステル）です。
今年は昨年の倍、16人くらいの子どもたちが参加する予定です。
皆様の暖かいご支援をよろしくお願いたします。